



ファクトシート

Nov

07

地域ごとの特徴 – HIV/AIDS 最新情報 2007年

世界の概観

- 世界的に見ると、HIV 感染率 – 全人口に占める感染者の割合 – は横ばいになったように思われる。しかし HIV 感染者の総数は、2001年の2,900万人（2,690万～3,240万人）から、2007年には3,320万人（3,060万～3,610万人）へと増加している。
- 2007年には約250万人（180万～410万人）が新たに HIV に感染し、210万人（190万～240万人）がエイズ関連疾患で死亡している。

サハラ以南アフリカ

- サハラ以南アフリカは、現在も最もエイズの影響を受けている地域である。2007年には約170万人（140万～240万人）が新たに HIV に感染し、HIV 感染者数は2,250万人（2,090万～2,430万人）と見られた。この地域は、他の地域と異なり、HIV 感染者の過半数（61%）が女性である。
 - 全世界の HIV 感染者の3分の2余り（68%）がこの地域に住んでおり、2007年のエイズ関連疾病による死亡の4分の3以上（76%）がこの地域で起きている。
 - この地域内では南部アフリカが最も影響を受けており、2005年の南部アフリカ8カ国（ボツワナ、レソト、モザンビーク、ナミビア、南アフリカ共和国、スワジランド、ザンビア、ジンバブウェ）の HIV 感染率は15%を超えている。
 - 南アフリカ共和国は世界で最も HIV 感染者の多い国だが、他の南部アフリカ諸国、東アフリカおよび西アフリカ諸国のエイズの影響を受けている国々と同じく、成人の HIV 感染率は横ばいしないし低下し始めている。低下の傾向はケニアおよびジンバブウェで顕著になっている。またコートジボワール、マリ、ブルキナ・ファソでも低下の兆しが見られる。これらの国々では、HIV 感染予防につながる行動変容も見られる。

アジア

- 2007年のアジアの HIV 感染者は490万人（370万～670万人）、この一年間に新たに44万人（21万～100万人）が感染し、エイズ関連疾患で30万人（25万～47万人）が死亡したと推計される。
 - 2007年の新規感染者数は、2001年に比べ20%近く増加している。
 - 地域内では東南アジアの HIV 感染率が最も高い。国により流行傾向に違いがあり、ミャンマー、タイ、カンボジアでは低下しつつあるが、インドネシア、ベトナムでは増加が著しい。
 - インドの HIV 感染率はかつて推定されていたよりも低かったが、流行はきわめて多くの人に影響を与えている（2006年の感染者新推計250万人（200万～310万人））。

西インド諸島（カリブ海）

- 2007年の西インド諸島（カリブ海）の HIV 感染率は1%と推計され、依然としてサハラ以南アフリカに次いで高い。2007年の HIV 感染者は23万人（21万～27万人）、エイズ関連疾患による死亡者は1万1千人（9,800千～1万8千人）、年間の新規感染者は1万7千人（1万5千～2万3千人）と見られる。
 - － この地域では、ドミニカ共和国およびハイチの HIV 感染率が最も高く、両国にこの地域の HIV 感染者の4分の3が集中している。
 - － しかしハイチでは近年、データによると、HIV 感染リスクの高い性行動が著しく減少している。
 - － エイズは、西インド諸島（カリブ海）の25歳から44歳までの年齢層の最大の死因の一つである。

東ヨーロッパおよび中央アジア

- 東ヨーロッパおよび中央アジアでは、2007年の新規感染者は15万人（7万～29万人）で、HIV 感染者は160万人（120万～210万人）に増加、エイズ関連疾患による死亡者は5万5千人（4万2千～8万8千人）と推計される。
 - － この地域で新たに報告される HIV 感染の90%近くがロシア連邦（66%）とウクライナ（21%）だが、他の国々でも新規感染報告は増えている。ウズベキスタンは現在中央アジアで最も感染者の多い国となっている。
 - － この地域での HIV 感染の多くは、薬物の静脈注射によるものである。

ラテンアメリカ

- ラテンアメリカの HIV 感染率はおおむね横ばいである。2007年の新規感染者は推計10万人（4万7千～22万人）で、HIV 感染者総数は160万人（140万～190万人）、年間にエイズ関連疾患で5万8千人（4万9千～9万1千人）が死亡したと見られる。
 - － この地域での HIV 感染の多くは、セックス・ワーカーとMSM（男性とセックスする男性）を含む感染にさらされる危険の高い人々の中で起きている。
 - － 男性間の予防措置を取らない性行為による HIV 感染が多い。（ボリビア、チリ、エクアドル、エルサルバドル、グアテマラ、ホンジュラス、メキシコ、ニカラグア、パナマ）
 - － この地域に広がるスティグマと差別が、HIV 予防・治療・ケア・サポートへの普遍的アクセス達成への大きな障害となっている。
 - － ラテンアメリカでの適切なサーベイランスに、もっと資金を投じる必要がある。

北アメリカ、西ヨーロッパおよび中央ヨーロッパ

- 2007年の北アメリカ、西ヨーロッパおよび中央ヨーロッパの HIV 感染者は210万人（110万～300万人）、新規感染者は7万8千人（1万9千～8万6千人）、エイズ関連疾患による死亡者は3万2千人（2万人～8万4千人）と推計される。
 - － HIV 新規感染の報告は西ヨーロッパでは2002年以来増え続けており、また北アメリカでも

減ってはいない。

- － この地域では、効果的な抗 HIV 療法に多くの感染者がアクセスしており、エイズ関連疾患による死亡は比較的少ない。

中近東および北アフリカ

- 2007年に新たに3万5千人（1万6千～6万5千人）が HIV に感染し、この地域の HIV 感染者は38万人（27万～50万人）となり、エイズ関連疾患で2万5千人（2万～3万4千人）が死亡したと推定される。
 - － この地域のデータはごく限られており、サーベイランスおよびデータ収集を進める必要がある。
 - － HIV 感染は男性と都市部に集中している。この地域で最も HIV 感染率の高いスーダン¹は例外で、安全でない異性間性行為が最大のリスク要因となっている。
 - － この地域全体で、予防措置を取らないセックス・ワークは無視できない要因だが、多くの国で薬物の静脈注射が主要な感染ルートとなっている。

オセアニア

- 2007年にオセアニア²では新たに1万4千人（1万1千～2万6千人）が HIV 感染し、HIV 感染者は7万5千人（5万3千～12万人）、エイズ関連疾患で1,200人（500以下～2,700）が死亡したと推定される。
 - － この地域の HIV 感染者の70%以上がパプア・ニューギニア³であり、かつて予想されたよりもいづらか弱まったものの、流行はさらに拡大している。
 - － オーストラリアとニュージーランド⁴では、主として予防措置を取らない男性間のセックスによって、HIV 感染が続いている。

問合せ先

Sophie Barton-Knott | UNAIDS Geneva | +41 22 791 1967 | bartonknotts@unaids.org